

体成分分析装置

仕様書

社会福祉法人 恩賜 財団 済生会支部
福岡県済生会大牟田病院

平成30年 7月

仕 様 書

1. 調達物品及び構成内訳

体成分分析装置 一式

2. 仕様・規格

2-1 体成分分析装置

- 2-1-1 周波数 : 1KHz、5KHz、50KHz、250KHz、500KHz、1000KHz
- 2-1-2 電力 : 70VA
- 2-1-3 外形寸法 : 202 (W) × 322 (L) × 53 (H) mm
- 2-1-4 重量 : 2Kg

3. 調達物品に備えるべき技術的要件

3-1 体成分分析装置

- 3-1-1 測定方法は多周波数インピーダンス法 (1kHz、5kHz、50 kHz、250 kHz、500 kHz、1000 kHz) を採用していること。
- 3-1-2 測定方法は8点接触型電極と付着電極の両方に対応していること。
- 3-1-3 各部位別 (右腕、左腕、体幹、右脚、左脚) に抵抗値が計測可能であること。
- 3-1-4 測定中のエラーを判定するに際し、計測中の抵抗値が色の変化により知らせることが可能であること。
- 3-1-5 測定項目は体水分量、細胞内水分量、細胞外水分量、筋肉量、除脂肪量、体脂肪量、体脂肪率、ECW/TBW、基礎代謝量、部位別水分量、部位別細胞内水分量、部位別細胞外水分量、部位別 ECW/TBW、部位別筋肉量が測定可能であること。
- 3-1-6 測定姿勢は立位姿勢、仰臥位姿勢、座位姿勢で体成分測定が可能であること。
- 3-1-7 電撃に対する保護の形式はクラス I 機器であること。
- 3-1-8 ディスプレイは 800×480 カラーTouchColorLCD を有し、測定結果、測定履歴を見る事が可能であること。
- 3-1-9 入力ボタン及びタッチパネルにて入力が可能であること。
- 3-1-10 測定結果は自動的にプリンタから出力できること。
- 3-1-11 測定結果は 100,000 回の保存が可能であること。
- 3-1-12 USB メモリへデータ出力可能であること。
- 3-1-13 外付けバッテリーを使用し、コードレスで測定可能なこと。
- 3-1-14 リアクタンスを測定可能なこと。
- 3-1-15 専用のキャリーバック、移動用カートを有すること。

3-2 プリンタ

- 3-2-1 サーマルプリンタで出力が可能なこと。
- 3-2-2 A4 プリンタで出力が可能なこと。

3-3 USB メモリ

3-3-1 本体のデータをコピーできること。

3-3-2 本体からコピーしたデータはケーブルを介さずにパソコンに読み取ることが可能なこと

3-4 専用カート

3-4-1 本体の移動を簡易にするための、専用カートを有すること。

4. その他必要条件

4-1 障害支援体制

4-1-1 本機器に障害が発生した場合、復旧のための迅速な対応が行えること。

4-1-2 修理、メンテナンスは国内での対応が可能であること。

4-2 設置条件

4-2-1 移動させるのに必要な搬入、配線、調整を行うこと。

4-2-2 所定の位置に無理なく設置できること。

4-3 その他

4-3-1 日本語の操作マニュアルを提供すること。

4-3-2 装置の管理者、運用者に技術指導を行うこと。

4-3-3 品質保証期間を搬入後1ヵ年とすること。

以上